

2019年10月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 人民権力全国議会特別会期の開催
- (2) 新たな経済政策の発表
- (3) 中国製フローティング・ドックの稼働

2 外交

- (1) チョウ・ティン・スエ・ミャンマー国家最高顧問府大臣のキューバ訪問
- (2) バイニマラマ・フィジー首相のキューバ訪問
- (3) メドヴェージェフ・ロシア首相のキューバ訪問
- (4) バボ東ティモール外務協力大臣のキューバ訪問
- (5) 台風19号被害に対するお見舞いメッセージ
- (6) CTBTO加入表明
- (7) パトルシェフ・ロシア安全保障会議書記のキューバ訪問
- (8) ボレル・スペイン外務大臣のキューバ訪問
- (9) ディアスカネル大統領のメキシコ訪問
- (10) モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長の訪日
- (11) ディアスカネル大統領のアイルランド訪問
- (12) 米国による新たな制裁に対する非難
- (13) ディアスカネル大統領のベラルーシ訪問
- (14) ディアスカネル大統領のアゼルバイジャン訪問
- (15) モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長のシンガポール訪問
- (16) モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長のパキスタン訪問
- (17) ディアスカネル大統領のロシア訪問

3 要人往来

- (1) 来訪
- (2) 往訪

【本文】

1 内政

- (1) 人民権力全国議会特別会期の開催

10日、人民権力全国議会特別会期が開催され、ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長が共和国大統領に選出され、直ちに就任した。共和

国副大統領にはサルバドル・バルデス・メサ（これまで国家評議会第一副議長）が選出された。

人民権力全国議会議長にはエステバン・ラソ（留任），副議長にはアナ・マリア・マリ・マチャド（留任），書記にはオメロ・アコスタ・アルバレス（新任）が選出された。この3名は，憲法規定に基づき，国家評議会議長，副議長，書記のそれぞれの役職を兼務する。

その他，国家評議会委員18名（留任14名，新任4名）が選出された。

（2）新たな経済政策の発表

15日，サルバドル・バルデス・メサ副大統領他経済関係閣僚は，閣僚評議会にて採択された新たな経済政策を発表した。今次政策は，国民の家電製品等へのアクセスを円滑化すると同時に，国外買い付けによる無節操に流出している外貨をコントロールすることを狙いとしたものであり，具体的な措置は以下のとおり。

ア 国営店舗における生活必需品及び国民の需要が高い製品の値下げ又は免税を実施。

イ 一般人は，（当該店舗に希望する製品がない場合には）外貨の保持を証明することができれば，外国貿易・外国投資省（MINCEX）により認証された輸入業者を通じて，輸入サービスを受けることが可能。

ウ 価格は固定ではなく，製品の質，サービス，保証及び輸入時の状況等により確定するが，現在の販売価格から10%から15%の値下げが可能となる見通し。兌換ペソでの販売も維持される。

エ 製品の購入は外貨口座開設時に発行されるカードでの電子決済で行われ，77店舗にて導入される（初期は13店舗のみ）。オンラインによる購入も可能となる。

オ キューバ人（及び永住資格を持つ者）は，メトロポリタン銀行を始めとする銀行にて米ドルの口座開設が可能（マグネット式のカード付き）。米ドルの他に，ユーロ，英国ポンド，カナダドル，スイスフラン，メキシコペソ，デンマーククローネ，ノルウェークローネ，スウェーデンクローナ及び日本円の入金が可能（キューバ通貨の入金は不可）。口座開設時の最低入金額の設定はなく，口座維持費も不要。決済時の変換レートは米ドルが基準となる。

（3）中国製フローティング・ドックの稼働

30日，最新技術を備えたフローティング・ドックがハバナ湾・カサブランカ造船所で受領された。製造に18ヶ月を要した同ドックは，中国の借款によりキューバが購入した。稼働は明年第1四半期を予定。これにより，6万5千

トンまでのパナマックス船舶の受け入れが可能となる。

2 外交

(1) チョウ・ティン・スエ・ミャンマー国家最高顧問府大臣のキューバ訪問
2日から4日にかけて、チョウ・ティン・スエ・ミャンマー国家最高顧問府大臣はキューバを訪問し、モラレス・オヘダ国家評議会兼閣僚評議会副議長と会談した。双方は、両国に関連する問題について、政治対話及び協力を強化していくことで一致した。

チョウ・ティン・スエ大臣は、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣とも会談した。双方は、経済・貿易関係及び双方にとって関心のある分野での協力を発展させていく意志を表明した。

(2) バイニマラマ・フィジー首相のキューバ訪問

3日、キューバを公式訪問中のジョサイア・ボレンゲ・バイニマラマ・フィジー首相は、ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長と会談を行った。両者は、良好な二国間関係について議論し、経済・協力関係を強化していく意志を確認した。ディアスカネル議長は、引き続き人材育成に貢献していくことを約束した。

(3) メドヴェージェフ・ロシア首相のキューバ訪問

3日から4日にかけてキューバを公式訪問中のドミトリー・メドヴェージェフ・ロシア首相は、ディアスカネル議長と会談を行った。両者は、両国政府及び国民間の歴史的な友好関係に基づいた素晴らしい二国間関係に満足の意を表し、その強化に向けて共に取り組む意志を確認した。会談の後、科学技術革新に関する二国間協力の署名式が行われた。また、運輸（クバーナ航空所有のロシア航空機のメンテナンスのためのプロジェクト及び機関車の生産拡大）、インフラ、工業、バイオテクノロジー、農業、エネルギー、通関（領空侵犯に対抗するための協力、税関職員の育成）分野等における協力に関する署名が行われた。

メドヴェージェフ首相は、ラウル・カストロ共産党第一書記とも会談した。

(4) バボ東ティモール外務協力大臣のキューバ訪問

4日、キューバを公式訪問中のディオニシオ・ダ・コスタ・バボ・ソアレス・東ティモール外務協力大臣は、ロベルト・モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長と会談した。会談中、双方は、両国の歴史的な友好関係を確認した。バボ大臣は、15年間東ティモール国民の生活水準向上に貢献した医療団の存在を

強調しつつ、教育、保健分野でのキューバの協力の重要性を強調した。モラレス・オヘダ副議長は、引き続き東ティモールに協力していくことや、二国間協力を拡大するための新たな分野に対する関心を再確認した。

(5) 台風19号被害に対するお見舞いメッセージ

13日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、台風により失われた人命と被害について、日本国民及び日本政府に対し、深いお悔やみとともに、犠牲者の家族及び親族に対する心からの追悼と連帯を表明する旨のメッセージを自身のツイッターにて発信した。

15日、ディアスカネル大統領は、台風19号により失われた人命と被害に対し、心からのお悔やみを表明するとともに、過去60年で最悪の被害をもたらした台風により犠牲となられた方のご家族に対するキューバ国民及び政府からの励ましの意を表した（在京キューバ大使館フェイスブック）。

同日、モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長も、自身のツイッターにてお見舞いメッセージを発信した。

(6) CTBTO加（包括核実験禁止条約機関）入表明

14日、キューバはCTBTOへの加盟を決定した旨表明した。ペレス・モンタヤ科学技術環境大臣は、「この条約は、核実験の探知だけでなく、自然災害の予防・警告のための科学の活用を可能とするものであり、情報へのアクセスにより我々自身も恩恵を受けることができる」と説明した。

(7) パトルシェフ・ロシア安全保障会議書記のキューバ訪問

15日、キューバを訪問中のニコライ・パトルシェフ・ロシア安全保障会議書記は、ラウル・カストロ共産党第一書記及びディアスカネル大統領と会談を行った。

(8) ボレル・スペイン外務大臣のキューバ訪問

16日、キューバを公式訪問中のジョセップ・ボレル・フォンテジェス・スペイン外務大臣は、ロドリゲス外務大臣と会談を行った。双方は、良好な二国間関係を確認し、外交、経済、貿易及び協力関係を強化していくことへの共通の関心を示した。ロドリゲス外務大臣は、米国による対キューバ経済・貿易・金融封鎖を解除し、ヘルムズ・バートン法第3章に反対するとのスペインの立場に謝意を表明した。会談後に行われた共同記者会見において、11月のハバナ500周年の機会に、フェリペ6世スペイン国王がキューバを公式訪問することを発表した。

16日、ボレル・スペイン外務大臣は、ディアスカネル大統領と会談した。双方は、歴史的、家族・文化的な絆に根ざした良好な二国間関係について意見交換を行い、その関係の強化に向けて引き続き取り組んでいく意志を表明した。

(9) ディアスカネル大統領のメキシコ訪問

17日、ディアスカネル大統領はメキシコを公式訪問した。訪問中、アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール・メキシコ大統領と会談等を実施した。ロドリゲス外務大臣、ロドリゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、ラウル・ガルシア・エネルギー・鉱業大臣等が同行した。

(10) 米国による新たな制裁に対する非難

18日、ディアスカネル大統領及びロドリゲス外務大臣は、自身のツイッターにて、米国による新たな制裁を非難する旨それぞれ発信した。

(11) モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長の訪日

19日から24日にかけて、モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長は即位の礼に参列するため、訪日した。訪日中、同副議長は、即位の礼に参列した他、古屋・日キューバ友好議連連盟会長、加藤厚生労働大臣、鈴木外務副大臣、赤松衆議院副議長、岸田自民党政調会長及び麻生副総理兼財務大臣と会談を行った。

同副議長は、広島にて原爆被害者慰霊碑への献花を行い、平和記念館を訪問した。

(12) ディアスカネル大統領のアイルランド訪問

20日、ディアスカネル大統領はアイルランドを公式訪問した。訪問中、マイケル・ヒギンズ・アイルランド大統領及びレオ・ヴァラッカー・アイルランド首相と会談を行った。今回の訪問は、キューバ・アイルランド外交関係樹立20周年を記念して行われたもの。

(13) ディアスカネル大統領のベラルーシ訪問

23日、ディアスカネル大統領はベラルーシを訪問し、アレクサンドル・ルカシェンコ・ベラルーシ大統領と会談した。双方は、二国間協力を拡大していく意志を表明した。ディアスカネル大統領は、米国による経済・貿易・金融封鎖を解除すべきとのベラルーシの立場に謝意を表明した。

会談後、両教育省間の連携促進のためのプログラムや、科学技術及びイノベ

ーション協力のためのプログラムなど、複数の覚書に署名が行われた。

(14) ディアスカネル大統領のアゼルバイジャン訪問

24日から25日にかけて、ディアスカネル大統領は、第18回非同盟諸国首脳会議に出席するため、アゼルバイジャンを訪問した。訪問中、第18回非同盟諸国首脳会議に出席した他、イルハム・アリエフ・アゼルバイジャン大統領と会談を行い、二国間関係が好ましい状態にあること、及び非同盟諸国の一体性を維持していくとの共通の立場について協議した。

(15) モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長のシンガポール訪問

25日から27日にかけて、モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長はシンガポールを公式訪問した。訪問中、リー・シェンロン首相、ヘン・スイキャット・シンガポール共和国副首相兼財務大臣及びビビアン・バラフリシュナン外務大臣等と会談を行った。

(16) モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長のパキスタン訪問

29日から30日にかけて、モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長はパキスタンを公式訪問した。訪問中、アリフ・アルビ・パキスタン大統領、イムラン・カーン・パキスタン首相、マクドウム・シャー・マヘムード・クレーシ・パキスタン外務大臣他、多数の閣僚と会談を行った。クレーシ外務大臣との会談後、外交及び公用旅券所持者の査証免除にかかる覚書に署名した。

(17) ディアスカネル大統領のロシア訪問

27日から30日にかけて、ディアスカネル大統領はロシアを訪問した。訪問中、ウラジミール・プーチン大統領及びメドヴェージェフ首相とそれぞれ会談した。両会談では、良好な二国間関係が確認されるとともに、経済・貿易関係の進展とエネルギー、運輸、冶金及びバイオテクノロジー分野における共同経済計画の重要性が強調された。ディアスカネル大統領は、米国による経済封鎖終了に向けた要求への連帯という、ロシアの政府、議会、様々な機関及び国民の変わらぬ立場に謝意を表明した。キューバ側からは、カブリサス閣僚評議会副議長、ロドリゲス外務大臣及びマルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が両会談に同席した。

ディアスカネル大統領は、キリル・ロシア正教総主教と会談した他、アレクサンドル・ベグロフ・サンクトペテルブルク市等を視察した。

3 要人往来

(1) 来訪

チョウ・ティン・スエ・ミャンマー国家最高顧問府大臣

バイニマラマ・フィジー首相

メドヴェージェフ・ロシア首相

バボ東ティモール外務協力大臣

パトルシェフ・ロシア安全保障会議書記

ボレル・スペイン外務大臣

(2) 往訪

ディアスカネル大統領のメキシコ訪問

モラレス・オヘダ閣僚評議会副議長の日本、シンガポール及びパキスタン訪問

ディアスカネル大統領のアイルランド、ベラルーシ、アゼルバイジャン及びロシア訪問